



## 2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年7月31日

上場会社名 株式会社 加地テック  
コード番号 6391 URL <https://www.kajitech.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 克憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 塩口 修治

TEL 072- 361- 0881

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,304	21.9	44	54.0	44	55.5	55	21.7
2025年3月期第1四半期	1,070	5.5	97		98		71	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	33.69	
2025年3月期第1四半期	43.02	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	11,200	7,807	69.7
2025年3月期	11,559	7,818	67.6

(参考)自己資本 2026年3月期第1四半期 7,807百万円 2025年3月期 7,818百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期				40.00	40.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	1.4	680	9.7	720	6.4	510	11.9	308.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	1,718,000 株	2025年3月期	1,718,000 株
期末自己株式数	2026年3月期1Q	63,656 株	2025年3月期	63,641 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	1,654,349 株	2025年3月期1Q	1,654,454 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(会計上の見積りの変更に関する注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	5
(セグメント情報等の注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	5

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米国の関税引き上げ政策による景況感の悪化が懸念されていましたが、未だ影響の顕在化は限定的であり全体としての景況感にあまり変化はみられませんでした。

日銀短観(2025年6月調査)による2025年度の設備投資計画(全規模・全産業)においても、2024年度実績対比で6.7%増と前回3月調査(0.1%増)から上方修正されており、堅調に推移していることがうかがえます。

一方で、前述した米国の関税引き上げ政策による外需減退の顕在化に加え、依然として収束の兆しが見えないウクライナ情勢や激化する中東情勢など、景気の下振れリスクは根強く残っており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第1四半期累計期間における当社業績は、大口の試験設備用圧縮機の販売等により、売上高は前年同期比21.9%増の1,304百万円となりました。しかしながら、原材料の高騰等による採算悪化の影響により売上総利益は伸び悩み、前年同期比4.7%増の426百万円となりました。また、P2Gシステム関連の研究開発費が増加したこと等により、販売費及び一般管理費が前年同期比23.1%増の381百万円となり、営業利益は前年同期比54.0%減の44百万円、経常利益は前年同期比55.5%減の44百万円となりました。なお、2025年7月22日公表のとおり株式会社神戸製鋼所との訴訟が当社側の勝訴となったことで特別利益37百万円を計上しており、その結果、四半期純利益は前年同期比21.7%減の55百万円となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間の総資産は、11,200百万円で前事業年度に比べ359百万円減少しました。この主な要因は、電子記録債権の増加156百万円、仕掛品の増加208百万円及び原材料及び貯蔵品の増加47百万円があったものの、現金及び預金の減少163百万円及び売掛金及び契約資産の減少630百万円があったことによりです。

当第1四半期会計期間の負債は、3,392百万円で前事業年度に比べ348百万円減少しました。この主な要因は、電子記録債務の減少146百万円、未払法人税等の減少98百万円及び賞与引当金の減少126百万円があったことによりです。

当第1四半期会計期間の純資産は、7,807百万円で前事業年度に比べ10百万円減少しました。この主な要因は、剰余金の配当66百万円及び四半期純利益の計上55百万円により、利益剰余金が10百万円減少したことによりです。

以上の結果、自己資本比率は69.7%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績見通しにつきましては、2025年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。業績を見直す必要が生じた場合は適時に開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,672,461	1,509,240
受取手形	16,068	34,998
電子記録債権	663,765	820,369
売掛金及び契約資産	1,890,619	1,260,456
仕掛品	1,680,977	1,889,019
原材料及び貯蔵品	329,654	377,202
預け金	1,100,008	1,100,009
その他	88,098	130,386
貸倒引当金	△20,600	△17,000
流動資産合計	7,421,054	7,104,681
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,285,962	2,265,496
その他（純額）	1,152,852	1,133,965
有形固定資産合計	3,438,814	3,399,461
無形固定資産	212,976	205,543
投資その他の資産	486,529	490,413
固定資産合計	4,138,321	4,095,419
資産合計	11,559,375	11,200,101
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	35,229	31,239
電子記録債務	617,101	470,246
買掛金	329,663	300,567
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	78,924	78,924
未払法人税等	134,074	36,061
契約負債	52,952	72,054
賞与引当金	223,258	96,495
製品保証引当金	40,350	39,238
受注損失引当金	64,300	61,700
その他	345,408	427,131
流動負債合計	1,931,262	1,623,658
固定負債		
長期借入金	1,276,382	1,256,651
退職給付引当金	522,422	501,623
その他	10,930	10,275
固定負債合計	1,809,734	1,768,549
負債合計	3,740,997	3,392,207
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	5,287,824	5,277,389
自己株式	△112,455	△112,504
株主資本合計	7,818,377	7,807,893
純資産合計	7,818,377	7,807,893
負債純資産合計	11,559,375	11,200,101

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,070,141	1,304,933
売上原価	662,716	878,431
売上総利益	407,425	426,502
販売費及び一般管理費	309,892	381,596
営業利益	97,532	44,905
営業外収益		
受取利息	822	823
保険配当金	489	511
鉄屑売却収入	691	299
その他	787	554
営業外収益合計	2,791	2,189
営業外費用		
支払利息	1,353	2,751
固定資産除却損	61	0
その他	0	297
営業外費用合計	1,414	3,049
経常利益	98,910	44,045
特別利益		
補助金収入	2,600	—
損害賠償収入	—	37,564
特別利益合計	2,600	37,564
税引前四半期純利益	101,510	81,609
法人税等	30,329	25,870
四半期純利益	71,180	55,739

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

従来、退職給付に係る会計処理において、数理計算上の差異の費用処理年数を主として15年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、当第1四半期会計期間より費用処理年数を13年に変更しております。

なお、当該変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

[セグメント情報]

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社は「圧縮機事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社は「圧縮機事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	61,320千円	73,116千円